

No. 30

昭和38年9月25日 発行

発行 千葉県長生郡長南町役場
印刷 茂原市町保 遠山印刷 K, K

広報 ちよ う な ん



年度別産米	政府売渡数
昭和33年	48,272 俵
〃 34 〃	53,103 〃
〃 35 〃	64,558 〃
〃 36 〃	71,003 〃
〃 37 〃	70,840 〃
〃 38 〃	70,652 〃

(38年度産米については)
9月20日現在の予約数)

長南町の耕地面積は、約二千ヘクタールで、その内水稻の作付は千五百ヘクタールである。今年の作柄は天候に恵まれたため一部の地域を除き、昨年を上廻り約拾壹万俵の収穫量が推定される。

耕種方法も年々機械化され、兼業化が進むにつれて省力化して来た。豊栄地区で本年始めて実施した、航空防除もその一例である。省力化を進める上にも問題があり、労力をへらしても減産では意味がない。又余剰労力に対する対策が大切である。

秋は収穫の季節であり、又再牛産に供える時でもありいづれにしても農家の皆さんには、一番うれしい時期である。

最近五ヶ年間に政府に売渡した、本町産米の数量は次の通りで、今年も過去の記録を更新したものである。

四十才台は残らず 全国で始めて「ガン」

近年がんによる死亡者が、年々増加し五人に一人は「がん」で死ぬと云われています。五分間に一人づつ日本の何処かで誰れかがこの「がん」のために死んでいるのです。なお「がん」で死ぬ人がだんだん若い人に多くなつて来ています。働き盛りの人が「がん」で死ぬことは勿論のこと、社会にとつても誠にたえられない事です。

そこで本町では、三十六年、三十七年に「がん」の無料検診を行いました。その結果によると本町には消化器系統の疾病者が、非常に多い事がわかりました。

今回は千葉県では全国初めての試みとして、発がん年齢即ち四十才から四十九才までの者全部登録して、毎年六ヶ月毎に無料で、検診を行う事となり、本町が最初にその指定を受けました。

この検診は「がん」だけでなく「胃かいよう」「十二指腸かいよう」「胃炎」「胃下垂」など消化器系統の異状もわかります。現在の進歩した医学をもつてすれば、例え「がん」が体のどこに出来ていてもそれが早期に見出されれば完全に治す事が出来ます。

それには異状がなくても、年に二回程度は検診を受ける事が必要です。

そして一日も早く「がん」を見し、一刻も早く正しい治療を行うことが一番大切な事です。折角県より指定を受けても受検者が余り少いと指定を取り消される事



自衛官の募集

防衛庁では二等陸海空のほか、防衛大学校学生、航空学生、自衛隊生徒、看護学生等、高校および中学校卒業見込者を対象とする各種募集が実施されておりますので、就職および勉学の一環として、特に技術習得のよい職場として、ふるつて御応募下さい。

なお詳細については役場総務課へお問合せ下さい。

結婚五〇年 六人に一人の幸福

結婚式には、ともしらがの生えるまでと固い誓いをし、破綻の多い人生航路の船出を、毎年町内では二百三十人位の人が大きな希望を持つて五十年を過ぎます。

結婚後五十年の永い年月が過ぎると、そろつて健康でいる方は六人に一人の割合となります。

毎年千葉県では、結婚五十年を記念して九月十五日に県知事が記念品を贈呈して祝意を表します。本町内においては、長南の中村作治郎さん外三十七名(十九組)の方が記念品を受けました。



英霊四百九十柱

最後に帰る川戸君

戦后十八年、日本は、あの焦土の中から自覚しい復興を見せつつありますが、その陰には祖国日本の礎として、幾多の戦争犠牲者のあつた事を忘れてはならないと思ひます。本町に於ても、支那事変後約四百九十名に上る、尊い犠牲者を出したわけであり、最近まで、肉親のもとに帰還する事が、出来なかつた方々が六名もあつたが、関係の方々のご御努力により、遂次帰還された事は、本紙でお伝えした通りですが、去る七月十一日豊原身の故郷軍一等兵川戸正一郎君の遺骨が郷土の方々の暖い出迎えを受けて無事帰還致しました。川戸君は昭和十九年二月中華民国河北省開平に於て、現地召集を受け同地の独立歩兵第十四大隊に依り

国民年金手帳はきよ出年金保険料の検認記録を証明するもので、本来は皆さんが保管するものですが、事務処理の正確と紛失をさけるために、役場で大切に保管してあります。

自分の手帳を見たい方にはいつでもおみせいたしますので、おついで折、年金係まで申出て下さい。



役場で保管する 国民年金手帳

国民年金手帳

国民年金だより

**完成近い
技術家庭科教室**

統合中学校の特別教室の建築については三十六年度より三ヶ年計画で着工し、計画通り順調に進みすでに音楽室・理科室は三十六年度事業で完成し本年度に技術家庭科教室と家庭教室(調理室・被服室)の建設を計画し技術家庭科教室はほぼ完成の域に達しました。建坪内容については左記の通りです。

- 総坪数 七八・五坪
 - 金工室 三八・五坪
 - 木工室 三〇・〇坪
 - 準備室 一〇・〇坪
 - 総工費 二、八七六千円
- なほ、家庭教室は近く着工の予定です。



改正された福祉年金 十月より

- 1 老令年金額旧方式千円 新方式千五百円
- (夫婦受給) 旧 九千円 新 一万二千円
- 2 母子年金額 新方式千五百円
- 3 障害年金 新方式千五百円

子供二人目より一人について四千八百円加算 旧老令八千円 新老令九千五百円

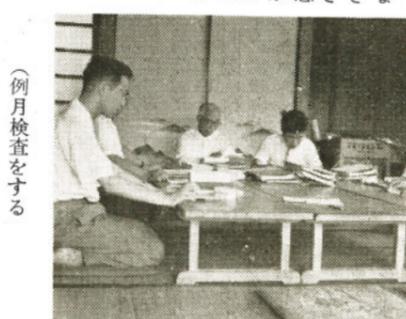
公的年金の併給者は十月より支給停止

公務扶助料を受けている人は、その額が一部支給停止され七万円以下であったため、七万円との差額が老令年金として支給されておりました。

しかし、十月より、公務扶助料が全額支給となり、七万円を超えるので、国民年金は支給停止となります。これに該当する人は、福祉年金証書が一枚つりのもので九ヶ月を受けた後、一ヶ月となつていて、九月分の年金は特例にて十月に受給できますので、該当者は十月になりましたら指定の局で支払いを受け次第その証書を役場へ返納下さい。

保険料の集金方法について

拠出年金も三年目をむかえ、みなさんの理解と協力で軌道にのり八月の繰り上げ納入も完納され、



例月検査をする 小山荒井監査員

監査と町の事務 毎月検査を受ける

あなたは老后に何の年金を受けられる資格がありますか、厚生年金、それが勤人の年金です。国民年金が、勤めをやめられたら厚生年金より国民年金に継続するよう、届出はくれずして下さい。一人は両方に入してもそれはむだです。年金は、保険料の完納で予約されるのですから、あなたの年金家族の年金を改めて確認し、正しい資格で御自身の年金を約束して下さい。さるようお願いします。

審査等の幅広い活動が期待されております。

それでは委員が監査することのできる目的物は何かと云いますと町の経営にかかるといふ事柄の執行についてです。したがって町の経営に係る事業であれば、単にその出納その他の会計事務に関係する事ばかりでなく、その事業が合理的か又能率的に経営されているかどうかという観点から行政監査・能率監査を行うことも出来る訳です。

このように監査は町がいろいろの事務を処理するに当つて住民の福祉の増進に努め最少の経費で最大の効果を挙げるよう監査指導し側面から町の事務の能率向上に寄与してまいります。

共同募金に 御協力を!

赤い羽根で親しまれている共同募金運動が今年も十月一日から全国的に展開されます。

御承知の様に共同募金運動は国民の一人一人の暖い助け合いの気持ちを結集して不幸をこの世の中からなくし明るい住みよい社会をつくらうとするものであります。

毎年町内の皆様方の理解ある御協力により目標額を達成し感謝致しておりますが、この皆様方の御協力が不幸な人々に取つて大きな助けとなり、ひいては社会を明るくする、大きな原動力となつていきます。今年も赤い羽根の共同募金助け合いの運動にぜひ御協力下さい。

給食センター

建設計画

学校給食については、すでに新聞ラジオ等で御承知の通り、全国の小学校は七〇%以上、隣接の市町村でもほとんどの学校で実施され多大の成果が上げられています。本市内においても、数年前よりその必要性は各機関で検討されておりましたが財政上延々となつておりました。

最近政府においては学校給食について積極的となり、三十八年度に建設すれば国の補助金と融資が受けられることになりましたので遅かれ早かれ町として実施しなければならぬ事業であるので、今後町単独で建設するより国の援助の受けられる、本年度に建設することが最もよい時期であるので八月月上旬に中旬にかけ町内全部の座談会を実施し、学校給食の話し合いを行いました。

座談会の出席率はあまり良くはなかつたが、出席者の大部分は学校給食そのものには反対がなく、今後の問題について多くの建設的な発言がありました。

なほ、給食センター建設予算は次のとおりです。

収入	
国庫補助金	壹百万円
起債	七百万円
寄付金	式百五十万円
一般財源	五十万円
合計	壹千七百五十万円
支出	
工事請負費	六百四十五万円
備品費	四百式十四万円



(給食センター説明会)

その他物件費 参拾叁万円
合計 壹千七百五十万円

工事請負費は約八十五坪の建物とそれに付随する施設代。備品費は小中学校児童・生徒・関係従業員等約三千人分の給食に必要な一切の什器・備品・輸送車二台等の費用です。

日歩四銭の延滞金

十月一日から実施

税金の延滞金については百円に付日歩三銭であつたが十月一日からは、次の通り改正されました。

納期後、督促状が発行され、督促状に定められた納期限内の十日間は日歩二銭それ以後は日歩四銭となりました。

最近では町民の皆さんの御協力により、滞納は大変少なくなつて居りますが、極く一部の方にはいまだ滞納が見受けられますことは甚だ残念な事です。今後は延滞金も日歩四銭になりましので、期限内納付を守つて明るい町造りに御協力下さい。

改正される

耕耘機の届出

道路運送車輛法と地方税法の一部を改正する法律の公布に伴いまして、小型特殊自動車、主として耕耘機の取扱について十月十五日から改正されます。

耕耘機の届出は従来千葉市の陸運事務所で行つておりましたが十月十五日から役場で行うようになります。従つて現在取付けてある標識を一齐に交換することになります。いづれ日程の連絡はいたしますのでその節は御協力下さい。



(鈴木さんが建た千田地先の標識)

道路案内標識

鈴木氏の美徳

本町を縦断する、県道長柄大多喜線は、東京、千葉方面から夷隅安房方面に通ずる道路として利用されています。

最近には特にバカンスムードにより、家族連れによる、外房の豊勝を訪れるマイカー族が、日毎に多くなりそれに併せて、道路標識が無いため道に迷う車が大変多くなりました。旅行客の迷惑の道路でありましたが、長南の鈴木文平さんは永い間の運転士経験から、道路案内標識の重要性と自分が未知の土地を訪れ、道に迷つたときの気持等により、千田地先の道路に案内標識を寄贈されました。

忘れられる

建築着工届

建築着工届は、建築行政および住宅行政の基礎資料を得ることを目的として行われているものであるが、従来はとく忘れられ無届で多くの建築が行われていました。十平方米(三坪)以上の建築をされる方は又は除却をされる方は届出をしなければなりません。農村地帯は都市とちがつて、何等の東縛もなく建築される方の思いのままの建物が建てられますので、建築する場合は忘れずに印かん持参の上役場建設課までおいで下さい。

五年に一度の

住宅調査

十月一日現在

五年に一度の住宅統計調査が十月一日現在で実施されます。この調査はわが国の住宅事情をいつせいに調査し、今後の住宅政策の基礎資料とする、住宅対策の最も基本的な調査であります。

長南町では、又富・蔵持一番組豊原永井・上芝原西部・山内東・山内宮本部落が調査対象地域として国より指定されました。調査内容は住宅の所有関係・室数・畳数・床面積・構造設備・破損の程度・世帯人員・世帯全体の収入等です。この調査は国で住宅統計に利用する以外に絶対的に他へ漏れることはありません。調査員が伺いましたら質問にありのままをお答え下さるよう調査対象の皆さんにお願いいたします。

大食は短命

藤田さん長寿秘けつ

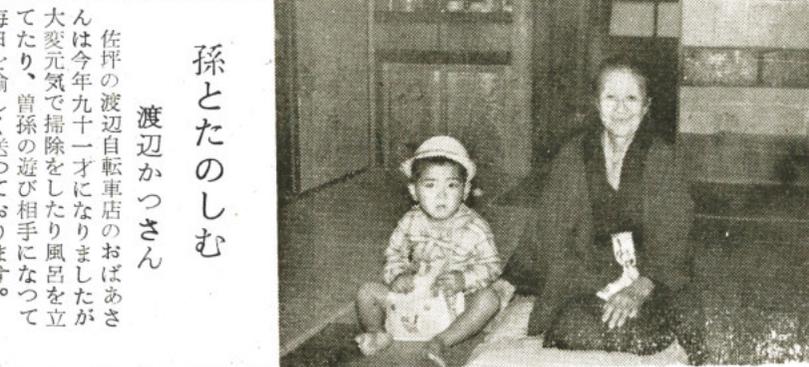
長南の未だのおばあさんで永い間親しまれてる藤田美つさんは、九十才を越えたが大変元気で、毎日朝早く起きて庭の草取りや、家の中の掃除をしたり、鶏の世話をして、若い者も及ばない元気で、又汚れたものを身につけることが大きらいで洗たく物は全部自分で洗つて居ります。

- 一、新鮮な魚を食べ特に川魚を好む。
- 一、野菜料理はさつぱりしたもの(洗濯する藤田さん)



- 一、毎朝うめ干を二つ程たべる
- 一、気を若く持つて若い人と話をする。
- 一、掃除や草取りで体を動かす
- 一、生卵を好んで食べる。

(佐坪の渡辺さん)



孫とたのしむ

渡辺かつさん

佐坪の渡辺自転車店のおばあさんは今年九十一才になりましたが大変元気で掃除をしたり風呂を立てたり、曾孫の遊び相手になつて毎日を愉しく送つておられます。

としよりに

おくりもの

毎年九月十五日はとしよりの日として、全国的に老人を大切にしている行事が行われます。

千葉県では九月十五日現在で九十才以上の方々に千五百円の敬老金を贈り長寿をお祝いいたします。

又町でも長寿を記念して九十才以上の方に座ぶとん一枚と金千五百円、八十五才以上八十九才までの方々に金千円、八十才より八十四才までの方には座ぶとん一枚を贈りお祝いたします。

長南	根村富五郎	九十二才
濱田	はる	九十二才
太田	すゑ	九十才
坂本	藤尾 石蔵	九十一才
佐坪	田中 すぎ	九十一才
下芝原	渡辺 かつ	九十一才
岩川	鈴木 あさ	九十一才
千田	関 なか	九十一才
千田	麻生 ぎん	九十一才
千田	久保 さと	九十才
長南	藤田 美つ	九十才

九十過ぎて

野菜づくり



岩川の関利雄さんのおばあさん九十を越えても大変元気で、自分の糞物や洗たくは、家族の世話にならずに全部自分でされるそう。

毎日の雑きんがけや、お茶わかし等は、かかさずしている。又天気の良い日は、野菜の草取りや中耕までして、若い人が顔負けする程の元気で。

老人福祉法

従つて市町村に対し、老人の健康調査の実施を義務づけると同時に老人の多年に亘る知識、経験を社会に役立たせる様要請し、同時に老人の希望及び能力に応じ適当な仕事その他社会的活動に参与する機会を与える様社会一般に要請しております。この様に老人の福祉増進は、社会一般の協同責任において推進しなければならぬ事を明確にしてあります。

老人福祉法は、八月一日より、施行公布されましたが、これを契機に、老人に対する考え方を改め今後の老人福祉対策に御協力下さる様お願い申し上げます。

南米に行く

藤平 暉夫君

市野々区三川の藤平興七さんの次男暉夫君(二十三才)は技術者として海外移住を心がけ、東京で八年間の永い間機械技術を身につけ、一人前の技術者となり、此の度、東洋綿花株式会社が経営する現地会社のスベルフイーネ会社の技術者として就職が決定し、九月三日横浜南棧橋出航の移民船あるぜんち丸の人となり。ドラの音とともに多くの近親内親の見送りに、静かに別れの演奏曲と共に思い出深い母国を後に、一路パナマ運河経由で南米サンパウロに向って出発いたしました。

一町民より

法外援護資金



町では恵まれない、人々を救済するために法外援護資金の積立制度を設けて、篤志家から困る人達に贈られた金を積立て運用していただきます。

この資金の一部にして下さいと匿名で千円送られた、一町民がありますので、紙上をかりてあつく御礼申し上げます。

日はくるゝ雨はふるのゝみちすがら
かゝるたびじをたのむ笠森
(御詠歌)

うきにふるなみだの雨にぬれじとて
けふかさもりをみにきけるかな
(日蓮上人)

日蓮上人笠森参籠の記

房州清澄山に於て出家得度した日蓮上人は比叡山に登つて十二ヶ年の間勉強修行を重ね法華経の妙旨によつて一宗を建立せんことを念願し建長五年四月笠森観世音に詣り堂内に参籠(おこもり)祈願すること二十一日一心に法華経を誦じよす満願の日墨田五郎観世音の靈夢の告げによつて上人に結縁し立宗開教の外護をなし初志を達

することを得たり、又文永年中安国を著し北条時宗のとがめうけたる時も当山に祈願して龍の口の法難をのがれたり後年日蓮上人観世音の加護に報謝して法華経を奉納す今の六角経蔵これなり。

南 長 光 観



六角堂上よりみた観音堂



井戸ポンプの

上手な使い

最近電気井戸ポンプが非常に普及してきました。これを使用するとき特に注意しなければならぬ点としては、水のせんは思いきり開いて、思う存分使用すること、このほうが、電気代もかえつて安くつき、ポンプの寿命も長もちがします。

次に、これからは寒さに向い、冬の凍結を防ぐための設備をしポンプや配管を凍らせることのないようにすることで、凍結防止のためには電球による凍結防止装置か、降水装置がポンプについている。しかし、寒さは急激にやってくるので、電球をつけ忘れたり、水を落とすのを忘れたりすることもあるから、しっかりと設備をしておいたほうがよい。ポンプ本体には、板かコンクリートがフロクド、簡単な小屋を造るのが一番よい。配管は牛毛フェルトなどを巻き、ビニールテープなどでさらにおおうようにするとよい。

(川せがきの人出)

長南の三途の台 萩原の行元寺

お江戸でもつばら評判だ

三千万円の煙り

一戸平均 一万二千元

昨年四月より、本年三月までの一年間に本町内のたばこ屋で販売したたばこの数量は、壹千壹百万九千九百本で金額に換算すると、約式千八百八拾六万円です。

最近農業の機械化とともに、勤人が大変多くなつておりますので、町外で購入するたばこが相当多くなつているので、実際には、長南町が煙にする金額は、年間

参千万円を超えることと思はれます。

又、たばこは、売上げ金額の一部がたばこ消費税として町に還元されます。昨年度は、参百六拾八万九千四百参拾円入りました。愛煙家の皆さんがより以上、町内のたばこ屋を利用していただく還元されるたばこ消費税が多くなると町の財源が楽になつて来ます。